

新型コロナウイルス情報

シニアへ5時間配信

大道芸や演奏、楽しんで

来月16日

横浜

コロナ禍で自粛生活を続けるシニア世代を元気づけようと、インターネットを活用した企画「みどり・オンライン祭り2020」が12月16日、横浜市緑区のみどりアートパーク(緑区民文化センター)で開かれる。ホールクラシック演奏や大道芸、講演などを5時間連続で生配信する。動画投稿サイト「YouTube」で無料視聴できる。



配信のため事前に収録したバイオリン演奏(上)と、大道芸(下)＝いずれも11日、みどりアートパーク

コロナ禍で自粛生活を続けるシニア世代を元気づけようと、インターネットを活用した企画「みどり・オンライン祭り2020」が12月16日、横浜市緑区のみどりアートパーク(緑区民文化センター)で開かれる。ホールクラシック演奏や大道芸、講演などを5時間連続で生配信する。動画投稿サイト「YouTube」で無料視聴できる。

と、特殊詐欺対策など社会問題の啓発を続ける団体「表現のチカラ」代表で俳優のはだ一朗さん(49)＝同市旭区＝らが企画した。横浜市内をはじめ県内のシニア世代千人以上の視聴を目標とする。

配信は午前10時から午後3時まで。▽医療、防犯のプロが語る「オンラインの恩恵」▽バイオリン演奏や合唱指導▽保育園児の合唱

など多彩な内容。事前収録したプログラムもある。また、「老いてこそデジタルを」などの著書がある80代のプログラマー若宮正子さんのリモートインタビューを予定。民主主義をテーマにしたラップに取り組むシニアも登場する。

はださんは「テレビの情報番組のような配信を目指す。オンラインを使えば体調が悪いときでも人と交流できる。やってみれば意外と簡単」と視聴を呼び掛けている。視聴は(yogan.fun/midori)。

問い合わせは、表現のチカラ ☎045(461)9564。

(小野 明男)

「診療・検査機関」2万4629カ所

同時流行備え指定、地域差も

冬場の新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備え、47都道府県が発熱患者に対応する「診療・検査医療機関」として計2万4629カ所(10日時点)を指定したことが12日、厚生労働省の集計で分かった。

人口1万人当たりでは最大の鹿児島(5・0カ所)と最少の千葉(0・5カ所)で10倍近い開きがあった。厚労省は保健所中心だった従来の相談、検査体制から、身近なかかりつけ医などが対応する仕組みに転換。各都道府県に対し、0

診療・検査医療機関は東京が3千カ所、最も多く、神奈川(1498カ所)、愛知(1290カ所)、福岡(1050カ所)が続いた。人口1万人当たりでは鹿児島に次いで、鳥取が4・8カ所、大分が4・3カ所と多い。

なかなか終わりが見えない新型コロナウイルスの流行。お年寄りが感染を恐れて自宅に閉じこもりがちだが春らしが長く続くと、身体機能や認知機能が低下して要介護の一手手前の「フレイル(虚弱)」と呼ばれる状態に陥る懸念がある。東京高齢社会総合研究機構の調査で、本格的な流行前に比べると、高齢者が外出して体を動かしたり、人と触れ合ったりする機会が減っていることが明らかになってきた。

機構長を務める飯島勝天・東大教授は「この状態が続くと来年以降に『コロナフレイル』が顕在化する恐れがある」と指摘。「新たな生活様式に合わせた健康づくりを全国の自治体が責任を持って進める必要がある」と訴える。

九州の自治体でフレイルチェックに参加した約30人を調べると、自粛期間中に2人に1人で筋肉量や握力が低下したり、滑舌が悪くなったたりしていた。人との交流が少なかった人でこの傾向が強かった。

それでも多くの自治体が活動を停止したままだ。「1人でも感染者が出るのを極端に心配している。自治体が萎縮してフレイル状態になっている」と飯島さん。「感染者が少ない地域では注意しながらフレイル対策を進めることが可能だ」と自治体の役割の重要性を訴える。

飯島さんは自治体の首長や筑波大、千葉大の

とインフルエンザを合わせ、全国で1日に約46万件の検査が必要となる見通し。これに対し、検体採取は約50万件、PCR検査などは約54万件の処理が可能で、全都道府県がニーズに即した体制を確保できると報告した。新たな仕組みで

感染恐れ閉じこもりがち

ダブルパンチ

同機構のチームは東京府石巻市行仁(55歳)を

念

だ」と話す。

心の健康損ね

高齢者の閉じこもりは

岐阜県輪之内町は10月、8カ月ぶりにフレイル

ポイント(政府による)

